1　令和８年度事業計画

【1】令和８年度業務運営にあたって

昨年１２月に公表された内閣府による令和８年度の日本経済見通しでは、実質 GDP 成長率 1.3%程度、名目 3.4%程度のプラス成長が見込まれ、引き続き国内需要が中心の回復基調が続くとされ、賃上げの継続や雇用環境の改善により所得環境が上向き、好循環の経済成長が期待されるとしています。

しかし、その後、本年２月 28 日に発生したイスラエルとアメリカ合衆国によるイラン攻撃から、原油価格の上昇や石油由来製品の供給不足懸念、こうしたことを背景とする物価上昇圧力の高まりによる経済減速を心配するとの声が高まってきています。

こうした不確実な経済情勢の中、当法人としては、創立 20 年の節目に向け引き続き「地域における障害のある人の自立と社会参加の促進」のため、障害福祉事業所における工賃向上支援、障害のある人の就労支援及び文化芸術活動支援の３つの分野で引き続き活動してまいります。

特に、静岡県が令和８年３月に公表した「第６次静岡県障害者計画」に掲げている重点施策のうち、「暮らしを支える福祉サービスの充実」、「身近な相談支援体制整備の推進」を推進しつつ、静岡県工賃向上計画に定める県目標平均工賃月額 25,000 円の達成に寄与すべく、当法人の強みとしている「つなぐ事業」を推進し、県・市町等からの官公需の一層の拡大、共同受注窓口としての受注業務の拡大に積極的に取り組んでまいります。

静岡県からは、健康福祉部所管「障害者働く幸せ創出センター運営業務委託」を始めとする 12 事業・73,028 千円、経済産業部所管「令和８年度障害者活躍推進事業業務委託」を始めとする４事業・83,384 千円、スポーツ・文化観光部所管「令和８年度静岡県障害者文化芸術活動支援センター運営事業委託」・14,658 千円の合計 17 事業・171,070 千円を受託する見込みとなっており、前年度実績と比較し事業数は同数ですが委託費は△14,357 千円の減少見込となっています。このため、県内中核市の入札を中心に積極的な応募を行ってまいります。

具体的な、実施事業は、後掲「令和８年度委託等事業費一覧」のとおりです。

【2】通常総会

通常総会	日時	令和８年６月 26 日（金）14:30～15：40
	場所	障害者働く幸せ創出センター　会議室

【3】理事会・監査会

第１回	令和８年５月21日（木）	10:00～12:00	B 会議室
総　会 第２回	令和８年６月26日（金）	14:30～15:40	AB 会議室 相談室
第３回	令和８年８月28日（金）	15:00～17:00	B 会議室
第４回	令和８年 10 月23日（金）	10:00～12:00	B 会議室
第５回	令和９年１月22日（金）	15:00～17:00	AB 会議室
第６回	令和９年３月26日（金）	10:00～12:00	B 会議室
監査会	令和９年５月17日（月）	10:30～12:00	A 会議室

【4】令和８年度委託等事業費一覧

（単位：円）

県部局等	令和８年度　委託事業名	当初予算額
健康福祉部	障害者働く幸せ創出センター運営業務委託	28,528,000
	障害者働く幸せ創出センター広報事業等業務委託	1,811,000
	農福連携ワンストップ窓口運営業務委託	7,260,000
	農福連携による工賃向上支援事業業務委託	15,939,990
	令和８年度一人一品運動協力隊等業務委託	1,300,000
	令和８年度福産品ブランド認定製品販売促進支援等業務委託	860,000
	令和８年度ヘルプマーク推進事業委託	1,834,000
	令和８年度障害者週間啓発キャンペーン運営業務委託	560,000
	令和８年度障害福祉事業所における生産性向上支援事業業務委託	3,495,690
	令和８年度障害福祉事業所における共同生産体制構築促進事業業務委託	4,899,290
	工賃向上会計処理支援事業業務委託	4,848,470
	令和８年度静岡こども救急電話相談等啓発資材作成・発送業務委託	2,000,000
経済産業部	令和８年度障害者活躍推進事業業務委託	73,778,703
	令和８年度障害者就労相談員設置事業業務委託	4,388,021
	令和８年度農福連携ワンストップ窓口運営事業業務委託	1,284,000
	令和８年度農福連携技術支援者派遣業務委託	3,934,000
スポーツ・文化観光部	令和８年度静岡県障害者文化芸術活動支援センター運営事業委託	14,658,000
県計a		171,379,164
静岡県共同募金c	子ども食堂誕生日会・福産品応援事業	8,000,000
合計(a+b+c)		179,379,164

（注）障害者働く幸せ創出センター事業について、県は債務負担行為（令和８年4月1日～令和12年3月31日）を設定しています。

(1)県委託事業(健康福祉部)

①障害者働く幸せ創出センター運営業務委託	事業費	28,528 千円

【県総合計画目標値】

障害のある人が地域で自立した生活を送るための工賃水準の向上

・県平均工賃月額/現状値:R5 21,713 円　⇒　R10　27,000 円

企業との連携や農業分野の職域開拓などによる障害の特性に応じた仕事の創出

・障害者働く幸せ創出センターによる企業等との連携・農福連携の仲介件数/

現状値：R6 1,224 件　⇒　R10 1,300 件

ア)企業と地域の連携の創出

・福産品購入、業務受発注に向けた企業への提案

・障害福祉サービス事業所（以下「事業所」という。）と企業の協働イベント開催

・企業と事業所との連携コーディネイト

イ)地域拠点(沼津・浜松)及び常設店舗(とも静岡店・とも沼津店)の運営・マネジメント

・常設店舗の運営及びマネジメントによる、事業所や福産品等の広報及び情報発信

・地区センター長を東部、中部及び西部に各１名配置

ウ)共同受注窓口・官公需促進に関する業務

・受発注対応（トイレットペーパー、石鹸、額縁等の福産品、清掃、除草、封筒印刷などの下請け業務）

・官公庁や企業等に対し、発注拡大に向けた提案

・事業所の業務や物品に関する情報発信

・官公庁や企業等からの大量発注を事業所が共同処理（共同製造・共同作業）する体制の構築

エ)障害のある人の「働くこと」に関する相談体制の確立

・事業所、企業等、障害のある人本人等からの障害のある人の働くことに関する総合相談の実施(企業や相談者のプライバシーに関する相談に対応するため、相談室を設置する。)

オ)センター、地域拠点及び常設店舗の管理

・ふじのくに福産品等展示コーナーの運営

・情報コーナーの運営

・交流・イベントスペース・会議・研修スペースの運営

カ)その他

・本業務の進捗状況を適宜報告し、県と調整を図る

・他事業、団体等との連携

②障害者働く幸せ創出センター広報事業等業務委託	事業費	1,811 千円

ア) 障害者働く幸せ創出センターの活動内容の情報発信

・センターの活動について、新聞等各種メディアへ情報発信

・事業所の活動や福産品に関する情報発信

・リーフレット等を活用したセンター活動の情報発信
・販売会等の広報について、チラシ配布や各種メディアへ情報提供
・センター内の展示コーナーにパンフレットや福産品を配架
・市町や地域の企業等と連携し、発注拡大に向けた情報発信

イ）常設店舗（静岡店）の管理運営
・とも静岡店の管理運営と地域への情報発信

③農福連携ワンストップ窓口運営業務委託	事業費	7,260 千円

【県総合計画目標値】
・障害のある人が地域で自立した生活を送るための工賃水準の向上
県平均工賃月額/現状値:R5 21,713 円　⇒　R10　27,000 円
・企業との連携や農業分野の職域開拓などによる障害の特性に応じた仕事の創出
障害者働く幸せ創出センターによる企業等との連携・農福連携の仲介件数/
現状値：R6 1,224 件　⇒　R10 1,300 件

ア）農家等と事業所等とのマッチング支援
農福連携ワンストップ窓口担当を２名配置し、次の業務について静岡県全域を対象に実施
・障害者及び事業所等からの農福連携に係る相談窓口業務
・特別支援学校からの農業実習や農業就職先の紹介に対応した農家等との調整
・障害者働く幸せ創出センターに求職相談のあった障害者や事業者等に対する情報提供や農福連携に関心のある事業所等への情報提供による求職情報の収集と掘り起こし
・障害者や事業所等の求職情報に対するマッチング支援
・専用ホームページについて、内容の更新や追加等の運営

④農福連携による工賃向上支援事業業務委託	事業費	15,939 千円

厚生労働省「工賃向上計画支援等事業実施要項」３（２）「農福連携等による障害者の就労促進プロジェクト」に基づき実施

ア)農業技術向上支援
・農業業技術等向上研修（講義）　4 回以上実施
農業の基礎、仕組み、農業技術向上や 6 次産業化等に資するもの
受講対象は、障害福祉事業に限らず、幅広く募集
・農業技術等向上研修（実践型研修）8 回以上実施
農業の基礎、仕組み、農業技術の向上や 6 次産業化に資する参加者が機械操作や作業等を実践できる内容の研修を実施
受講対象は、障害福祉事業に限らず、幅広く募集
・個別技術支援実習　21 か所以上につき 1～6 回実施
対象事業所あるいは農場等において、対象事業所が専門講師から農業技術に関する指導や助言等を受けながら農業技術に学ぶ実習を実地

・通年技術支援実習　3か所以上につき 7～12 回実施

対象事業所あるいは農場等において、対象事業所が専門講師から農業技術に関する指導や助言等を受けながら、作付けから収穫まで通年を想定して農業技術を学ぶ実習を実地

イ）福産品の６次産業化支援及び販売支援

・静岡県庁周辺での実施を含め県内各地において、農福連携マルシェの開催及び個店、専門店、商業施設出店等の実施　19 回以上（農福連携マルシェは 10 回以上））

・農福連携大型マルシェの開催　1 回以上

・製品改良支援（６次産業化に取り組む事業所に専門家を派遣し、指導、助言等を実施、加工販売に係る支援を実施）　製品 17 品以上（1 事業所２製品まで）

・広報活動　研修参加、農福連携マルシェ、販売開催等

⑤令和８年度一人一品運動協力隊等業務委託	事業費	1,300 千円

ア）一人一品運動協力隊

・県庁職員及び民間企業等の職員を対象に、事業所が製造する商品の注文販売の実施（県庁職員１回、民間企業等職員 1 回以上）

・令和 9 年度一人一品運動協力隊（県職員向け）の準備（コース内容の提案、チラシ作成）

イ）販売促進フェア

・県庁内において、福産品販売促進フェアの 2 回以上の開催（県庁内 2 回、浜松市役所 1 回）

⑥令和８年度福産品ブランド認定製品販売促進支援等業務委託	事業費	860 千円

ア）福産品のブランド化推進のためのパンフレット等の作成等

⑦令和８年度ヘルプマーク推進事業業務委託	事業費	1,834 千円

ア）ヘルプマーク周知啓発出前講座の実施　県内で５回

イ）ヘルプマークの購入　6,700 個（セットアップは、障害福祉サービス事業所に依頼）

⑧令和８年度障害者週間啓発キャンペーン運営業務委託	事業費	560 千円

ア）１２月の障害者週間における作品展示及び啓発品の設置・配布

⑨令和８年度障害福祉事業所における生産性向上支援事業業務委託	事業費	3,495 千円

障害のある人の工賃向上を目的とした事業所の供給能力向上のための支援

ア）専門家による研修会の開催

・就労継続支援 A 型事業所及び就労継続支援 B 型事業所を対象とした専門講師等による研修会（自主製品及び下請け業務）の開催　2 回以上開催

イ）専門家による個別の事業所訪問（伴走支援）の実施

・就労継続支援 A 型事業所及び就労継続支援 B 型事業所を対象とした専門家による個別の事業所訪問　15 か所以上（1 事業所当たり 3 回以上）

⑩令和８年度共同生産体制構築促進事業業務委託	事業費	4,899 千円

障害のある人の工賃向上を目的として事業所の供給能力の向上を図るための共同生産体制の構築に向けた支援

ア）志太榛原地区及び静岡地区

・試作した焼菓子の包装デザインの作成依頼・調整
・試作した焼菓子の販売戦略の検討依頼・調整
・ワーキングの開催　月１回程度
・ワーキングの実施結果等の報告
・事業所との連絡調整
・事業所への材料費及び食品衛生検査費の支払い
・デザインアドバイザー及びマーケティングアドバイザーとの連絡調整
・デザインアドバイザー及びマーケティングアドバイザーへの交通費及び報償費の支払い
・既存事業の減産に係る工賃減少分の事業所への支払い
・成果物の納品

イ）東部地区

・試作する焼き菓子の製造依頼・調整
・ワーキングの開催　月１回程度
・ワーキング実施結果等の報告
・事業所との連絡調整
・事業所への材料費の支払い
・菓子製造アドバイザーとの連絡調整
・菓子製造アドバイザーへの交通費及び謝礼の支払い
・既存事業の減産に係る工賃減少分の事業所への支払い
・成果物の納品

⑪工賃向上会計処理支援事業業務委託	事業費	4,848 千円

ア）就労支援事業会計や工賃向上計画策定に係る相談窓口業務

・就労支援事業会計や工賃向上計画策定に関する総合的な支援を行うための相談窓口を設置
・事業所からの就労支援事業会計や工賃向上計画策定に関する問合せや相談に対応し、情報提供を行うとともに、必要に応じて専門家等と協力した支援
・相談窓口の設置について、ホームページ等を活用し、事業所に対して周知、広報を実施

イ）専門家による研修会の開催

・就労支援事業会計に関する知識や工賃向上計画策定に関するノウハウの向上等を図ることを目的に、専門講師等による研修会　３回以上開催
・研修の受講対象は、就労継続支援Ａ型事業所及び就労継続支援Ｂ型事業所
・研修のテーマは、就労支援事業会計に基づく適切な会計処理・仕分けのルール等の習得及び工賃向上計画の策定に係る損益分岐点の分析や適切な目標工賃の設定方法等の習得

ウ）専門家による個別相談会の実施

・就労支援事業会計に基づく会計処理や工賃向上計画策定に係る疑問点を解消することを目的に、専門家による個別相談会　３回以上開催

・個別相談会の受講対象は、就労継続支援Ａ型事業所及び就労継続支援Ｂ型事業所

⑫静岡こども救急電話相談等啓発資材作成・発送業務委託	事業費	2,000 千円

ア）こども救急電話相談に係る啓発資材の作成及び発送

(2)県委託事業(経済産業部)

①令和８年度障害者活躍推進事業業務委託	事業費	73,778 千円

【県総合計画目標値】

・障害者雇用率：R6 年　2.4%　⇒　R10 年　2.7%

障がいのある人の求人開拓、マッチング、定着の支援

障害者新規雇用確認人数/現状値:R3～R6　累計 2,525 人　⇒　R7～R10 累計　2,450 人

ア）「障害者活躍推進雇用サポーター(統括 1 人を含め 17 人)」を県内 8 つの福祉圏域に配置し、公共職業安定所及び就労支援機関と連携した障害のある方の雇用促進並びに雇用後の活躍及び定着を見据えた支援を実施

○県内企業を積極的に訪問し、障害者雇用の実情把握や課題分析、助言等を行い、訪問企業の現状確認を実施

○企業の現況等を可能な限り、支援機関と繋げ、随時調整を行い、支援機関と連携したチーム支援を展開

○支援機関への橋渡しだけでなく、雇用サポーター自らが企業に対する具体的な支援を企画し、雇用促進並びに雇用後の活躍及び定着を見据えた支援を実施

○業務遂行に当たり支援に必要な知識の習得や経験の蓄積に努力

・企業を訪問し、障害者の求人開拓を目的として、法定雇用率の未達成企業を中心に訪問し、県のガイドブックやチラシを活用して各種支援事業を実施

・企業の支援活用意向を確認し、同意を得られた企業には、現状と課題を把握し、職務選定や受け入れ体制の整備に向けた雇用計画を立案

・公共職業安定所と情報を共有しながら、最適な支援機関と繋ぎ、支援機関と連携した企業向けのチーム支援を導入しマッチングから定着まで一貫した伴走型支援を実施

・関係支援機関とのチーム支援の基盤構築に向けて、地域の各支援機関との連携を強化し、積極的な情報交換の場を設け、公共職業安定所や県ジョブコーチ、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所等とのネットワークを深め、精度の高いマッチング支援体制を確立

・企業の抱える課題に応じ、障害者雇用先進企業や支援機関と企業を直接つなぐ役割を担うほか、サポーター自らが実践的な企業見学会の実施を企画立案し、最適な解決策を提示

・企業が主体的に雇用の推進や職場定着が出来るような体制づくりを企業へ提案
・県の「精神障害者職場環境アドバイザー」と協力して企業支援を実施し、必要に応じて「ハローワーク精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を企業に紹介し専門的な助言を提供
・企業担当者に「ジョブコーチ養成研修」の受講を推奨し、日常的なサポート体制の強化を図るよう助言
・本事業のセミナー等の業務について、事業全体をより効果的なものとするための必要な業務を実施
・担当地域にある特別支援学校や静岡県立工科短期大学校（静岡キャンパス、沼津キャンパス）や浜松技術専門校、あしたか職業訓練校と定期的に打合せを実施し、企業訪問情報等の共有を行い、各制度等について企業等へ情報を提供
・障害者手帳を持たない障害のある人（いわゆる、実雇用率に算定されない障害者）に関する支援についても、依頼があれば支援者を通じて雇用サポーターが支援

イ）成果目標　①法定雇用率未達成企業の支援ニーズ把握資料作成 1,000 社
②企業訪問支援実績 9,000 社
③雇用サポーターが企画する企業見学会合計 96 回
④障害者雇用企業のアフターフォロー訪問 3,500 社

ウ）はじめての障害者雇用セミナーを１回開催（会場及びオンライン）。会場は、東部又は西部

エ）障害者雇用・活躍推進セミナー　東中西各１回　計 3 回開催

②令和８年度障害者就労相談員設置事業業務委託	事業費	4,388 千円

障害者就労相談員を障害者働く幸せ創出センターに設置し、必要に応じて出張相談を実施。

ア）障害のある人からの就労に関する相談
イ）障害福祉事業所からの障害者雇用に関する相談
ウ）福祉施設等関係機関からの障害者雇用に関する相談
エ）ハローワーク、なかぽつ、雇用サポーター、ジョブコーチ、精神障害者職場環境アドバイザー及びその他地域の障害者支援機関との連携した就労支援
オ）障害者雇用に関する情報発信
カ）障害者就労相談に係る相談処理報告書の作成

③令和８年度農福連携ワンストップ窓口運営事業業務委託	事業費	1,284 千円

ア）農業者等の相談窓口業務
イ）農業者の求人情報の収集と堀り起こし
ウ）農業者の求人情報に対するマッチング支援
エ）農福連携の機運醸成に向けた活動
オ）コーディネーターの活動
・アからオまでの業務遂行におけるコーディネーターの活動量　年間活動時間延べ 518 時間
・農業者に係る業務（相談、情報収集、マッチング支援）、機運醸成活動
・マッチングが成立した農業経営体数　20 経営体（目標）

④令和８年度農福連携技術支援者派遣業務委託	事業費	3,934 円

ア）農業現場における障害者就労に関するアドバイスを行う農業技術支援者を派遣

3)県委託事業（スポーツ・文化観光部）

①令和８年度静岡県障害者文化芸術活動支援センター運営事業委託	事業費	14,658 千円

【県総合計画目標値】

障害者スポーツと文化芸術活動の振興

・県障害者スポーツ大会や県芸術祭障害者文化芸術部門の参加・鑑賞者/現状値：

R6　4,750 人　⇒　R10 6,500 人

ア)静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」の運営

・支援コーディネーター3 名（東部、中部及び西部）及びアートディレクター1 名を配置

・相談支援（関係機関及び専門家の紹介、専門的見地からのアドバイス実施、来所、電話、電子メール等による相談対応、支援拠点での週 1 日程度の来所による相談対応）

・支援人材の育成（障害特性等の理解等に関する研修、現場体験プログラム等の提供）

・関係者のネットワークづくり（協力委員会等の開催）

・文化芸術活動への参加機会の確保（ワークショップ・オープンアトリエの開催）

・情報収集・発信（展示会や公演等イベント情報等の発信、新たなアーティストの発掘、ファインダーの更新管理、障害者芸術の魅力発進、ブロックセンターとの連携）

・障害者芸術応援隊（隊員の選定と派遣）

・みらーと協力隊（協力隊の登録、みらーと事業への協力依頼、福祉施設との連携による運営強化）

・関係事業等との連携（全国障害者芸術・文化祭、静岡県芸術祭、アーツカウンシルしずおかとの連携・協力

・事業評価（協力委員会における事業評価）

4)静岡県共同募金会助成金事業

①子ども食堂誕生日会・福産品応援事業	事業費	6,000 千円

ア）県内の子ども食堂に、障害福祉事業所で製作した誕生日ケーキを 1,000 セット配送

②子ども食堂誕生日会・福産品応援事業	事業費	2,000 千円

ア）県内の子ども食堂に、障害福祉事業所で栽培している野菜を 333 セット配送

【５】自主事業

1） 会員増強

・新規会員の確保及び既存会員へのフォローに努める。

会員数　令和 7 年度末　　385 会員

令和 8 年度目標　400 会員

2) 自主研修事業

・研修情報部会を中心に、年間を通じて福祉事業所向け実践的な研修を開催
製品ブランディング講座（予定）

3) 企業 CSR 支援

・企業が CSR 活動として行う取組について、福祉事業所のニーズとのマッチングを支援

4) 物品販売

・ふじっぴー関連グッズの販売
売上額　　令和 7 年度実績　　984 千円
　　令和 8 年度目標　1,000 千円

5) カフェ就労の開催

・就労する障害のある人同士の交流の機会を提供　年１回開催

6) 部会の運営

・就労支援部会
　障害者就業・生活支援センター、特別支援学校、福祉サービス事業所、障害者雇用を推進する企業等の責任者等を委員とし、障害者活躍推進事業など当法人が実施する障害者就労支援への助言・提言等をいただく部会を年５回実施

・研修情報部会
　自主研修事業の企画・運営を実施